

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会
 牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
 FAX (078) 361-4539
<http://nssk-kobeshoten.org/> 口座振替 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- 礼拝出席に努めよう。
- み言葉を分かち合おう。
- 地域との交流促進。

聖語

いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。

(1テサロニケ 5:16-18)

祝クリスマス

離任にあたっての感謝

司祭 ミカエル 小南 晃

降臨節に入りました。降臨節は一つには降誕日・クリスマスを相応しく迎えるために備える時であり、いま一つの意味は主イエス・キリストが再び来られる再臨の時を待つ季節です。そしてこのクリスマスは、私にとって神戸昇天教会での14回目となります。

8月末に当教会牧師の人事異動が公示され、私こと、司祭 小南 晃は、2018年12月31日をもって神戸昇天教会牧師の任を解かれ、2019年1月1日付け姫路頭栄教会の牧師に任命されます。公示が出た時には、まだ今しばらく時間があると思っておりましたが、時間というものはその時が近づくにつれて加速度を増すように思えます。この降臨節は「眠りから覚めるべきときが、すでに来ている（ローマの信徒への手紙 13:11）」という聖句を改めて実感をもって受けとめています。

14年間の恵みに感謝

14年間、正確には13年と9カ月ですが、この伝統ある神戸昇天教会で働かせて頂いたこと本当に光栄であり、嬉しく思っています。そしてこの間に皆様から頂いたお交わりや優しさ、ご指導とご協力など、与えられた多くの恵み

に心から感謝しています。

「あなたがたが自分では労苦しなかつたものを刈り入れるために、わたしはあなたがたを遣わした。他の人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実りにあずかっている（ヨハネによる福音書 4:38）」という主イエス・キリストのみ言葉の通り、それまでの先生方と信徒の方々の労苦の結晶とも言うべき新しい会館が完成し、その運用が開始された時に、当教会に派遣されました。

その建物の性格は「地域への開放型のものとし、高齢化社会、少子化社会に奉仕できるものとする」と教会創立100年記念の事業計画に謡われています。言わば目標を定められたところで働き始めることが出来ました。

また2010年に礼拝堂聖別100年記念を共にお祝いできたことは嬉しい出来事でした。

懺悔と赦しの祈り

しかし14年を振り返り、また当教会での任期が残り1カ月であることを思う時、「してはならないことをし、しなければならぬことをせず」という「懺悔と赦しの祈り（祈祷書19頁）」の言葉が心に刺さります。もっと早く気

が付いて、悔い改めて新しい歩みを始めていればと思うのですが、これは「終わりの時」を意識することで心に迫ってくるものにも思えます。

キリスト教は「終わりの時」を意識して生きようと勧めています。それを忘れることが「眠っている」状態でもあるということでしょう。主に赦しを求めると共に、新たな悔いる心を与えられたことを恵みと思い、この反省を今後生かして行きたいと思えます。

クリスマスの喜びと共に

転任を前にして、皆様と一緒にクリスマスをお祝いできること嬉しく思います。

14年という時も過ぎてしまえば短く感じます。しかしこの間に赴任当時、サンタクロースに目を輝かせていた子供たちは皆、今は成人しています。新たな若い世代が当教会に与えられますことお祈りしたいと思います。

当教会には1月から3月まで神戸聖ペテロ教会の中原康貴司祭が管理牧師として来られます。そして4月からは新しい司祭が牧師として派遣されます。まだ公示は出ていませんが、私より若い先生が来てくださいます（4月からは私が現役牧師で最年長ということになりますので当たり前のことですが…）、管理牧師の中原司祭、そして4月からの新任牧師と共に、益々、神戸昇天教会が主の栄光を現して参られますことをお祈りいたします。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
 " 9時15分 教会学校
 " 10時30分 聖餐式・説教
 午後5時 夕の礼拝

水 午前10時30分 聖書研究会
 土 午前10時30分 教会掃除
 (ご奉仕をお願いします)